

困窮而通

(困こんは窮きゆうして通つうず)

〔出典〕易経、繫辭下

〈意味〉

苦しむことは、だれしもきらうことではあるが、苦しみ窮してこそ次に道が通じてくる。

作者のことば

「困った、どうしよう」がすぐに解決できればよいが、世の中、簡単に解決できることは多くはない。何もしいまま、できないまま、ぎりぎりのところまで追い詰められ、「どうにかしなくては」と懸命に考え努力する。結果、問題は解決し、場合によっては予想以上の成果が得られ、大きな喜びとなることもある。困ることはないやだが、道が開けた時、困り窮することもある。困ると思ふ。困り窮した時、それにくじけないようにするために、心の中で何度も唱えたいと思う。

氏名(郡司源一郎)